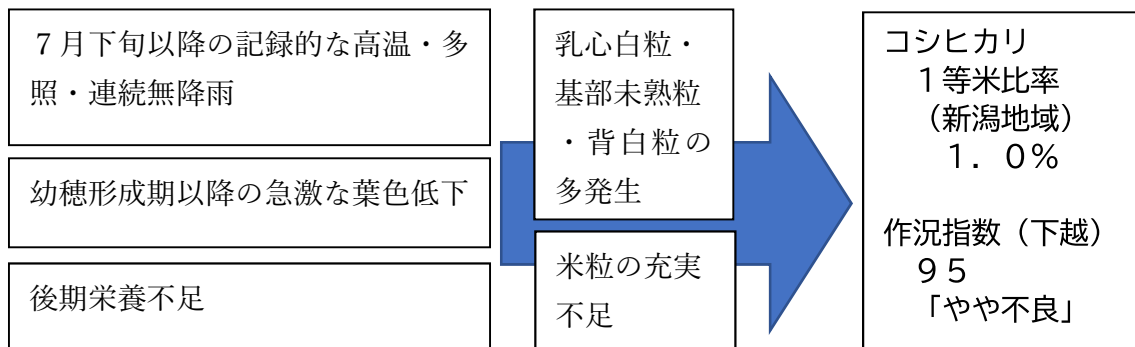


【発行者】新潟農業普及指導センター  
新津庁舎：0250-24-9624、津川分室：0254-92-0965

## 異常気象を意識したコンパクトで丈夫な稲づくり！ 6年産米の収量・品質の安定確保を目指しましょう

### 1 令和5年産米の収量・品質に影響した要因 ～登熟期の異常気象～

令和5年は、7月下旬以降の記録的な高温・多照・連続無降雨と厳しい気象条件でした。コシヒカリを中心に品質が大きく低下する結果となりました。



### 2 令和6年産米の管理対策 ～基本技術対策の徹底～

(「令和6年産コシヒカリの収量、品質の安定確保に向けた管理」参照)

令和6年は、「適正籾数 28,000 粒/m<sup>2</sup>の確保」の基本技術対策の徹底に加えて、令和5年のような異常高温時には、以下の重点技術を実践し、品質向上・収量確保に向けた異常気象に備えた丈夫な稲づくりを目指しましょう。

#### 【災害級の異常高温時における重点技術】

##### ①追肥の確実な施用

出穂期3日前までの確実な追肥の実施

##### ②水管理の徹底

飽水管理の再徹底(出穂25日前から出穂25日後まで)

##### ③刈遅れの防止

早期収穫、丁寧な乾燥・調製による品質の確保



# 令和6年産コシヒカリの収量、品質の安定確保に向けた管理 ～異常気象を意識したコンパクトで丈夫な稲づくり～

新潟農業普及指導センター

## 災害級の異常高温時における重点技術

### 1. 追肥の確実な施用

出穂期3日前までの確実な追肥の実施  
分施肥体系の3回目穂肥、一発基肥の追加穂肥の実施

### 2. 水管理の徹底

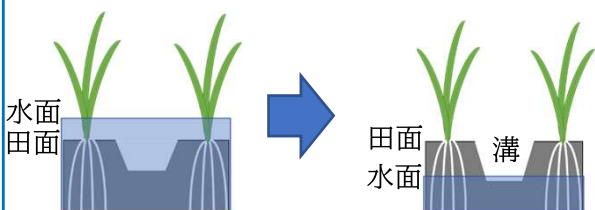
溜め水にしない飽水管理の再徹底（出穂25日前から出穂25日後まで）

### 3. 刈遅れの防止

早期の収穫開始（積算温度900℃、黄化率75～80%を目安）  
丁寧な乾燥・調製（1.9mm選別や色彩選別機の有効活用）

\*品種構成の見直し・直播栽培の導入等、リスク管理を考慮した作付計画を検討、実践しましょう。

#### 飽水管理



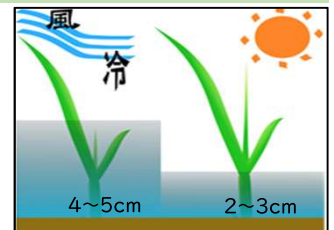
【1と2を繰り返す】

1. 1～2cmくらい浅く給水
2. 自然減  
(足跡や溝の底に水が残る程度まで水位減少)  
(田面から2～3cm程度下位)

## 基本技術対策（適正籾数28,000粒/m<sup>2</sup>の確保・収量540kg/10a・全量1等）

### 1. 初期生育の安定による下位分けつ確保

- 健苗育成・移植
- 初期水管理の徹底  
活着まではやや深水、活着後は浅水、ワキ対策の水更新
- 根圏の拡大  
土づくり資材(特にケイ酸)の施用、稲わら等のすき込み、耕深15cmの確保



活着まで 活着後  
図:保温的水管理イメージ

### 2. 早めの生育調節で良質茎・適正籾数確保

中干しは早めに実施

田植25日後に茎数確認し、目標茎数の7割で中干し開始  
田面の小ヒビ発生まで（遅くとも出穂1か月前までに終了）



図:中干し開始目安

### 3. 登熟期の高温フェーン対策

- 後期栄養と水管理で登熟向上  
高温に対応した追肥や穂肥の施用、飽水管理の徹底  
フェーン前の湛水、フェーン後の水更新、  
出穂25日後以降の落水
- 適期収穫、選別  
籾黄化率85～90%で収穫、丁寧な乾燥  
1.85mm選別及び色彩選別機の有効活用



図:中干し終了目安